

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31 年 3 月 2 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103726		
法人名	有限会社 あけぼの会		
事業所名	グループホーム あけぼの		
所在地	広島県広島市南区皆実町1丁目13 - 2 (電話) 082-250-6923		
自己評価作成日	平成31年2月14日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103726-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年2月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的な雰囲気を出すことで、利用者に自分の家にいるような心地よさを心掛けている。又医療機関との相談、連携を行い心身ともに健康で安心して過ごして頂けるよう努めている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所理念「家庭的な雰囲気で、いきいきと楽しむ豊かな毎日を支援します」を基に取り組んでいる。職員は施設を意識するような服装をせず私服着用など親しみやすい対応を心がけている。職員は、利用者のその日の状況に応じて利用者一人一人に対応し、体調不良時にも沈着に対応している。毎朝、発声練習の為にレクリエーションとして童謡や歌謡曲を歌っている。連携する訪問看護師と医師が利用者の健康状態を把握し、適時適切な対応をしている。また、利用者・家族の要望があれば看取りを行う方針で、重度化した際には、家族の意向を再度確認し、要望があれば医師と連携して看取りを行っている。</p>

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念「家庭的な雰囲気できいきと楽しむ豊かな毎日を支援します」と毎朝ミーティングで唱和し職員にも浸透し実践している。	事業所の理念があり、毎朝のミーティングで唱和し、理念を共有している。理念に沿ったサービスを提供する為に職員が相談しながら実践している。	理念に沿ったサービスを相談しながら提供しているが、実際に出来ているかを検証する必要があると思われます。今後は職員と共に実施状況を評価し、次に繋げることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事(盆踊り、花植え、とんど等)に参加するとともに、地域ボランティアの方に来て頂き交流を持っている。散歩の際には気軽に挨拶を交わすなど常に地域との関わりをもっている。	町内会に加入し、町内役員を引き受けたり、「町内花植え」に協力している。利用者は、盆踊りやとんど等の町内行事を見学し地域住民と交流している。散歩で、地域住民と挨拶を交わしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前、認知症アドバイザーの資格保有者が公民館等で講演を行っていた。最近では運営推進会議で地域の方との話の中で活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催し、議事録をまとめて市へ報告している。近隣の方、地域包括支援センター、利用者家族、地元老人会から参加頂き現状報告や課題について話し合いサービス向上に活かしている。	運営推進会議は、家族・地域住民・地域包括支援センターが参加して定期的に行われ、意見交換を行っている。昨年夏の洪水について意見交換し、公的な避難場所までは遠いので、事業所3階を一時的な避難場所として利用してもらおうことを提案した。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力を築くように取り組んでいる。	サービスに関する相談や空室、利用希望者の情報交換等を行っている。	区の生活課職員と利用者に関する相談を定期的に行っている。地域包括支援センターから事業所1階を「地域の集いの場」として使用したいとの申し出があった。	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	増築工事の際、玄関のみ電子キーでのロックがかかっている。それ以外では必要時以外施錠は行っていない。身体拘束はやむおえない場合に限り、本人、家族了承のもと一時的なケアとして行い、その都度モニタリングを行っている。	外部研修で学んだ「身体拘束」について職員会議で伝え、話し合っている。不潔行為や自傷行為を繰り返す利用者に対して、家族に了解を得てやむなく拘束行為を行っているが、介助について職員と検討している。	身体拘束に関する外部研修の報告は行われているが、「身体拘束・虐待」に関する内部研修は行われていないようである。「身体拘束・虐待の具体的な事例や身体拘束・虐待をしないケアの重要性について」の研修を行い、職員の認識を高めることを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	外部への研修に行き他職員にも浸透するよう研修報告を行い職員一人ひとりが理解し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修へ行き資料をもとに研修報告を行い、利用者への支援に役立てている。必要と思われる利用者には区への相談に行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約、解約の際は、十分な説明を行い、疑問点、不安点については早期解決を目指し理解、納得して頂けるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	2か月に1回運営推進会議にご家族をお呼びし近隣や地域包括等との話し合いの機会を設け意見頂いている。又、利用者の近況報告も細目に行いサービス向上へ反映させている。	家族が運営推進会議に出席したり来所された際に、家族の意見・要望を聞いている。毎月、利用者の近況を「筆レター」として家族へ報告している。苦情に対しては、申請者の意見に耳を傾け対応策を講じている。	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	1か月に1回職員会議を開き、職員からの意見や提案を聞き職員全体で話し合っている。	毎月、フロア毎の職員会議を行い、職員の意見を聞いている。利用者の介護度が高くなり介護に時間を要し、時間外勤務が発生するようになった。それに対して、職員と協議し食事作りの時間を早めるなどの業務改善を行い、時間外勤務を少なくした。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人ひとりと話しをし、本人の体調や働き方等に相談に乗っている。年に1度の昇給、配置転換、担当制の役割等責任をもって務めて頂けるよう整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の力量、経験年数にともなった法人外の研修や資格試験を受ける機会を設け確保している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修会等に参加し同業種との意見交換、互いに問題解決策を出し合い自事業所に持ち帰り検討し取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス開始前より本人や家族との面談で要望や訴えを聞き、サービスとすり合わせを行い施設に慣れて頂くように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス開始前より家族の不安点、困っていることを傾聴することで信頼関係の構築に努めている。入所後も面会時や請求書送付時に手紙で本人の様子やお話をさせて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	アセスメント後情報をもとに職員を交えて利用者に何が必要であるかを見極めてサービス提供にあたっている。入所後1月経過した後本人に合ったプラン作りを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者に対し尊敬の念を念頭に置き、喜怒哀楽を共に感じることで関係を築いている。また出来るものは職員と一緒に行うようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者の状況を電話や毎月の手紙、面会時でお知らせすることで情報を共有し、共に利用者を支えあっている関係を気付いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族の了承を得た上で、本人と面会したり馴染みの人との縁を絶やさないように支援している。	友人・知人の面会希望については、家族から了解を得た後に来所して頂くよう対応している。親しい友人が来所されたら、ゆっくり話ができるように配慮している。	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士で雑談をしたり、レクの参加や散歩へ行くようにしており、利用者同士が関わり合う機会を設けるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じ本人家族からの相談に乗っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや希望については傾聴し意向に沿うように努めているが、困難な場合は気を紛らわすよう他の提案を行ったり、家族を交えて解決するよう努めている。	利用者の話に耳を傾け、利用者の要望・意向を把握したら、「個人記録」に記入し職員間で共有している。テレビ番組を見て、「美味しいおやつを食べたい」との要望に対して、近隣の商業施設でおやつを食べることもある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	前任のケアマネや家族から本人の様子を聞きサービス利用への向上に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご自分で出来ることは行って頂き、個々の生活、能力に合わせたケアを行っている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人のニーズをもとに家族から要望をお聞きし、医師やナースと連携の上でケアプラン作成し話し合いや意見を反映させている。	利用者毎に担当者を決めている。担当者はモニタリングを行い、ケアカンファレンスで他の職員の意見を聞いている。その際には、出来ていない項目について原因を追究し、ケアプランの見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	利用者の様子や状態を常に観察し、記録、申し送り等で職員間での情報を共有し、定期的にモニタリングを行い見直すことで次のプランニングに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	様々なニーズに対応できるよう職員間の連絡、相談、報告を行いその時々、その人にあったサービス対応をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域行事に参加することで地域との一体感や季節感を感じてもらい暮らしに楽しみをもってもらおうようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入所前に本人かかりつけ医を確認、本人及び家族の納得が得られた場合、自事業所協力医指示のもと適切な医療が受けられるように支援している。	利用者・家族の要望でかかりつけ医を決めている。ほとんどの利用者が事業所の協力医をかかりつけ医としている。また、眼科・耳鼻科・整形外科などは、今までの主治医を受診する利用者がある。週1回、訪問看護師が来所し、2週に1回かかりつけ医が往診して利用者の健康状態を把握している。	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護は1/w来所し全員と面談、健康管理を行っている。その際、個々の利用者と会話、訴えを聞き、職員からの現状報告を聞いた上で適切な診療や看護にあたってもらうよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	施設から入院する際は利用者の情報を記した「退所要約」「現状時要約」を文章でわたし、その後電話やお見舞いに行った際に相談を行うことで病院関係者や家族との関係作りを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に説明を行った「重度化に関する指針」をもとに本人、家族、Dr、職員とその後ケアについて綿密な話し合いを行っている。家族からの不安を常に傾聴し相談に乗ることで全体での終末期に向けた取り組みを行っている。	入所時に、「重度化に関する指針」を家族に説明している。事業所としては、家族の要望があれば看取りを行う方針である。口から食べ物を摂取出来ない状態になれば、家族の意向を確認し、要望があれば、医師・家族・管理者が話し合っ方針を決め実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時のマニュアルは常に事業所に提示している。ノロウィルスの対応策は常に準備している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災訓練を年に2回行っている。その際、夜間の対応、地域への協力体制もお願いしている。避難経路、避難用具、食料品の確保行っている。	年2回、うち1回は消防署立ち合いの下に防災訓練を行っている。毎回、夜間を想定した訓練を行うが、職員の役割を決め、実際に利用者も参加して行われる。運営推進会議で地域住民に、災害の際の協力を要請している。	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人格を尊重し、年長者として敬い、又プライバシーに配慮した声掛けを行っている。	利用者に対する不適切な言葉遣いや対応については、その都度、職員を指導している。オムツ交換をする際には、必ずドアを閉じて行っている。	利用者に対する不適切な対応については管理者が随時指導している。しかし、今後は、「人格の尊重」「プライバシーの確保」「個人情報の漏えい」に関する勉強会を行い、サービス向上に取り組むように期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の希望や思いは常に聞いている。希望に沿うことが難しい場合は代替案を提示したり、時間を置いて対応するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人のペースや希望に沿い柔軟な対応をあたえるよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の愛用されていた化粧品や小道具をご家族に持ってきて頂いたり、行きつけの美容室に通われたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご自分で出来ることはやって頂くよう、簡単な作業等を見守り、介助のもと一緒に行っている。しかし、食中毒の懸念、又作業が困難な利用者も増えているため職員が行っている場合が多い。	ご飯・味噌汁・サラダなどの一品は手作り、それ以外は、食料宅配会社の献立で提供している。事業所の行事の際には、利用者の要望を聞き、「お好み焼き」「そうめん」などを提供している。	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量を把握し、水分補給が難しい方には声掛けや介助を行い一人ひとりの健康状態を観察しその人に合った対応を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食、声掛け、誘導、見守り、介助にて口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、出来るだけ失禁のないよう下剤の調整やトイレ誘導を行い自尊心やプライバシーに気を付けた声掛けを行っている。	排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。排泄の自立を促すために、立位を維持できない方でも1日に1回は、トイレに座るように取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事摂取量や水分量を把握したうえで、体操や散歩、下剤薬等個々に応じた対応を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	施設では曜日や時間帯が決まっているときに入浴して頂いている。	冬の季節は週2回、夏は汗をかくので週3回入浴し、身体を清潔に保つようにしている。	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>個々の生活習慣や状況に応じたリズムを支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>協力を依頼している薬局の薬剤師より薬の説明を受け用途、使用方法についての説明をその都度行っている。その後についても本人の様子を観察し記録、医師や看護師、薬剤師に相談している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個人のペースに沿いデイケア利用や気分転換の行事、家族との外出を支援している。近隣への散歩やレクリエーション等で気分転換を図っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>常にご本人の希望に沿った外出は難しい場合もあるが、気候が良い時には散歩に出たり、近隣の商業施設でお茶を飲みに行ったりとしている。遠出の希望はご家族様にお願いしている。</p>	<p>気候が良い時期には、出来るだけ散歩するようにしている。利用者の要望で買い物に出かけることもある。時には、近隣の商業施設におやつを食べに行ったり、近所の公園に花見に行くこともある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>金銭管理はお金を置いた場所を忘れる等のトラブルの原因ともなるため所持はしていない。外出の際に職員と一緒に買い物したり、職員が代理で購入している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自ら電話をかけることは出来ないが、外よりかかってきた場合はその都度対応している。家族等から本人へ届いた手紙はその都度渡している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者にとって居心地よく安心感が持てるような配置を行っている。	クリスマスや正月には季節の飾りを展示している。七夕の短冊・ぬり絵・職員と一緒に製作した壁飾りを掲示している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂、廊下の2か所にて対応している。又気の合う利用者同士が近い席になるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人が以前使っておられた小タンスや家族との写真を持って来て頂くことで本人が馴染みのある居室を作り出している。	利用者が今まで使っていたタンスなどの家具を居室に持ち込んでいる。また、居室には、利用者の思い出のある物、位牌、家族の写真を飾り、それぞれに居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全面を考慮したうえで個々の能力、生活にあった出来ることをして頂き、された際は感謝の声掛けを行い自信に繋がるような支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念「家庭的な雰囲気できいきと楽しむ豊かな毎日を支援します」と毎朝ミーティングで唱和し職員にも浸透し実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事（盆踊り、花植え、とんど等）に参加するとともに、地域ボランティアの方に来て頂き交流を持っている。散歩の際には気軽に挨拶を交わすなど常に地域との関わりをもっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前、認知症アドバイザーの資格保有者が公民館等で講演を行っていた。最近では運営推進会議で地域の方との話の中で活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催し、議事録をまとめて市へ報告している。近隣の方、地域包括支援センター、利用者家族、地元老人会から参加頂き現状報告や課題について話し合いサービス向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	サービスに関する相談や空室、利用希望者の情報交換等を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	増築工事の際、玄関のみ電子キーでのロックがかかっている。それ以外では必要時以外施錠は行っていない。身体拘束はやむおえない場合に限り、本人、家族了承のもと一時的なケアとして行い、その都度モニタリングを行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	外部への研修に行き他職員にも浸透するよう研修報告を行い職員一人ひとりが理解し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修へ行き資料をもとに研修報告を行い、利用者への支援に役立てている。必要と思われる利用者には区への相談に行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約、解約の際は、十分な説明を行い、疑問点、不安点については早期解決を目指し理解、納得して頂けるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	2か月に1回運営推進会議にご家族をお呼びし近隣や地域包括等との話し合いの機会を設け意見頂いている。又、利用者の近況報告も細目に行いサービス向上へ反映させている。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	1か月に1回職員会議を開き、職員からの意見や提案を聞き職員全体で話し合っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人ひとりと話しをし、本人の体調や働き方等に相談に乗っている。年に1度の昇給、配置転換、担当制の役割等責任をもって務めて頂けるよう整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の力量、経験年数にともなった法人外の研修や資格試験を受ける機会を設け確保している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修会等に参加し同業種との意見交換、互いに問題解決策を出し合い自事業所に持ち帰り検討し取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス開始前より本人や家族との面談で要望や訴えを聞き、サービスとすり合わせを行い施設に慣れて頂くように努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	サービス開始前より家族の不安点、困っていることを傾聴することで信頼関係の構築に努めている。入所後も面会時や請求書送付時に手紙で本人の様子やお話をさせて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	アセスメント後情報をもとに職員を交えて利用者に何が必要であるかを見極めてサービス提供にあたっている。入所後1月経過した後本人に合ったプラン作りを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者に対し尊敬の念を念頭に置き、喜怒哀楽を共に感じることで関係を築いている。また出来るものは職員と一緒に行うようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者の状況を電話や毎月の手紙、面会時でお知らせすることで情報を共有し、共に利用者を支えあっている関係を気付いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族の了承を得た上で、本人と面会したり馴染みの人との縁を絶やさないように支援している。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士で雑談をしたり、レクの参加や散歩へ行くようにしており、利用者同士が関わり合う機会を設けるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じ本人家族からの相談に乗っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや希望については傾聴し意向に沿うように努めているが、困難な場合は気を紛らわすよう他の提案を行ったり、家族を交えて解決するよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	前任のケアマネや家族から本人の様子を聞きサービス利用への向上に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご自分で出来ることは行って頂き、個々の生活、能力に合わせたケアを行っている。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人のニーズをもとに家族から要望をお聞きし、医師やナースと連携の上でケアプラン作成し話し合いや意見を反映させている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	利用者の様子や状態を常に観察し、記録、申し送り等で職員間での情報を共有し、定期的にモニタリングを行い見直すことで次のプランニングに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	様々なニーズに対応できるよう職員間の連絡、相談、報告を行いその時々、その人にあったサービス対応をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域行事に参加することで地域との一体感や季節感を感じてもらい暮らしに楽しみをもってもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入所前に本人かかりつけ医を確認、本人及び家族の納得が得られた場合、自事業所協力医指示のもと適切な医療が受けられるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問看護は1/w来所し全員と面談、健康管理を行っている。その際、個々の利用者と会話、訴えを聞き、職員からの現状報告を聞いた上で適切な診療や看護にあったってもらうよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>施設から入院する際は利用者の情報を記した「退所要約」「現状時要約」を文章でわたし、その後電話やお見舞いに行った際に相談を行うことで病院関係者や家族との関係作りを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入所時に説明を行った「重度化に関する指針」をもとに本人、家族、Dr、職員とその後のケアについて綿密な話し合いを行っている。家族からの不安を常に傾聴し相談に乗ることで全体での終末期に向けた取り組みを行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変時や事故発生時のマニュアルは常に事業所に提示している。ノロウィルスの対応策は常に準備している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>防災訓練を年に2回行っている。その際、夜間の対応、地域への協力体制もお願いしている。避難経路、避難用具、食料品の確保行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人格を尊重し、年長者として敬い、又プライバシーに配慮した声掛けを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の希望や思いは常に聞いている。希望に沿うことが難しい場合は代替案を提示したり、時間を置いて対応するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人のペースや希望に沿い柔軟な対応をあたよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の愛用されていた化粧品や小道具をご家族に持ってきて頂いたり、行きつけの美容室に通われたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご自分で出来ることはやって頂くよう、簡単な作業等を見守り、介助のもと一緒に行っている。しかし、食中毒の懸念、又作業が困難な利用者も増えているため職員が行っている場合が多い。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量を把握し、水分補給が難しい方には声掛けや介助を行い一人ひとりの健康状態を観察しその人に合った対応を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食、声掛け、誘導、見守り、介助にて口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、出来るだけ失禁のないよう下剤の調整やトイレ誘導を行い自尊心やプライバシーに気を付けた声掛けを行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事摂取量や水分量を把握したうえで、体操や散歩、下剤薬等個々に応じた対応を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>施設では曜日や時間帯が決まっているときに入浴して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>個々の生活習慣や状況に応じた リズムを支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>協力を依頼している薬局の薬剤 師より薬の説明を受け用途、使 用方法についての説明をその都 度行っている。その後についても 本人の様子を観察し記録、医師 や看護師、薬剤師に相談してい る。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>個人のペースに沿ってデイケア 利用や気分転換の行事、家族と の外出を支援している。近隣の 散歩やレクリエーション等で気 分転換を図っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>常にご本人の希望に沿った外出 は難しい場合もあるが、気候が 良い時などは散歩に出たり、近 隣の商業施設でお茶を飲みに行 ったりとしている。遠出の希望 はご家族様にお願いしている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>金銭管理はお金を置いた場所を 忘れる等のトラブルの原因とも なるため所持はしていない。外 出の際に職員と一緒に買い物し たり、職員が代理で購入してい る。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>自ら電話をかけることは出来ないが、外よりかかってきた場合はその都度対応している。家族等から本人へ届いた手紙はその都度渡している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者にとって居心地よく安心感が持てるような配置を行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食堂、廊下の2か所にて対応している。又気の合う利用者同士が近い席になるよう工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が以前使っておられた小タンスや家族との写真を持って来て頂くことで本人が馴染みのある居室を作り出している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>安全面を考慮したうえで個々の能力、生活にあった出来ることをして頂き、された際は感謝の声掛けを行い自信に繋がるような支援を行っている。</p>		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(3階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームあけぼの

作成日 平成31年4月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		身体拘束禁止、プライバシーの尊重等、職員の知識にバラつきがある。個々が理解し、今後に活かしていくよう研修を行う	職員一同で学ぶ機会を増やし、職員の意識を高める。	施設内での勉強会を計画的に行い、外部研修で新しい情報を共有し、サービス向上に繋げる。	2年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。